

様式第10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
にかほ市地域	にかほ市	平成22年4月1日～平成29年3月31日	平成22年4月1日～平成29年3月31日

1. 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成20年度)	目 標 (平成29年度) A	実 績 (平成29年度) B	実績/ 目標	
排出量	事業系 総排出量	1,987 t	2,026 t	2,322 t	845.0 %
	1事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	t	%
	1人当たりの排出量	240 Kg/人	218 Kg/人	232 Kg/人	35.9 %
合計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%	
再生利用量	直接資源化量	10 t	0 t	20 t	-119.5 %
	総資源化量	1,641 t	1,548 t	1,041 t	-452.5 %
熱回収量	熱回収量(年間の発電電力量)	— MWh	— MWh	— MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	1,440 t	1,520 t	1,626 t	158.8 %

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成20年度)	目 標 (平成29年度) A	実 績 (平成29年度) B	実績/ 目標	
総人口	28,695 人	26,965 人	24,983 人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	12,253 人	16,487 人	14,618 人	55.9 %
	汚水衛生処理率または汚水処理人口普及率	42.7 %	61.1 %	58.5 %	85.9 %
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	7,122 人	7,240 人	6,398 人	-613.6 %
	汚水衛生処理率または汚水処理人口普及率	24.8 %	26.8 %	25.6 %	40.0 %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	2,130 人	833 人	1,899 人	17.8 %
	汚水衛生処理率または汚水処理人口普及率	7.4 %	3.1 %	7.6 %	-4.7 %
未処理人口	汚水衛生未処理人口	人	人	人	%

※目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

### 【ごみ処理】

#### ○排出量

事業系排出量については、最終処分場で安定物の屋根瓦の受入を許可しているため(平成29年度搬入量660t)目標を超過している。空き家対策で税制改定及び危険家屋の解体等が進んだことにより増加していると思われる。

生活系総排出量については、目標を達成しているが一人当たりの排出量では目標を下回った。予測よりも人口減少の加速度が早く、排出量は減っているが、新施設の料金が安価に設定されているため、人口減少に伴って家財道具等の粗大ごみの搬入が増えていると思われる。

#### ○再生利用量

平成29年度再生利用量合計は、目標の1,548tに対して実績が1,041tであり目標値に対して67.2%となっている。

目標を達成できなかった数値となっているが、要因としては以下のとおりである。

- ①資源ごみの分別徹底を進めたことにより排出抑制に関する意識も向上により資源ごみ自体の排出量が減少したこと。
- ②民間事業者(スーパー等)の資源物回収BOXの設置が進み民間のリサイクル量が増加したことで行政回収量が減少したこと。※民間リサイクルの実数を把握するため民間事業者へのアンケート等を実施します。

上記要因によるかほ市の収集量の予測と実績は右記のとおりであり、社会情勢の変化や平成20年度と比べて、市民意識が格段に向上し、新たに民間リサイクル化が充実したことを勘案すると再生利用化は目標通りに進んだものと考えられるため、今後も市民・事業者と協調し再生利用の促進に努めたい。

	不燃ごみ	カン	ビン	ペットボトル	古紙	計
予測数量	376t	110t	233t	79t	960t	1758t
実績数量	261t	89t	188t	60t	675t	1273t
リサイクル量	129t	88t	158t	56t	610t	1041t
リサイクル率	49.4%	98.9%	84.0%	93.3%	90.4%	81.8%

#### ○最終処分量

最終処分場の埋立量については、直接搬入の埋立量が805tあり、新施設に搬入され、破碎後資源物を取り除いたものと合計で1,626tとなっている。排出量の要因が埋立量増加の要因と思われる。

### 【生活排水処理】

公共下水道は、普及率の向上を図るため面整備管渠工事を進め面整備の拡大を図っている。目標の16,487人に対して実績14,618人で、普及率についても目標の61.1%に対して58.5%であり目標値は下回った。集落排水施設は全18処理区が完成しており、目標の7,240人に対して実績6,398人で普及率についても目標26.8%に対して実績25.6%であり目標値は下回った。合併処理浄化槽は、目標の833人に対して実績1,899人で普及率も目標3.1%に対して7.6%であり目標は下回った。

人口の減少が著しく、目標未達成のようにになっているが、公共下水道の接続率89.9%、集落排水91.6%、未処理人口目標2,405人に対し実績2,068人と毎年順調に推移しており目標は達成していると考えられる。

### 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 平成34年度まで

#### 【ごみ処理】

目標未達成となった指標を含めすべての指標で目標達成となるよう、次期計画で整備予定のマテリアルリサイクル推進施設(ストックヤード)整備に合わせ、広報等を活用したPR、施設見学会、出前講座でのごみの現状、リサイクルの推進を紹介し循環型社会の推進を図ります。これまで続けている施策は継続しながら、新たな施策の検討を進めます。

1人当たりの排出量の目標達成のため、住民に対してごみの排出抑制、再生利用の意識及び効果、ごみ排出方法に関する啓発を積極的に行い、住民が自主的に、かつ積極的に取り組めるよう、ごみ減量化・資源化の体制づくりを行ない、リサイクルシステムが円滑に機能するよう体系を確立していくものとします。

再生利用量、最終処分量の目標達成のため、民間事業者へのアンケートを実施して再生利用量の実数を調査し、にかほ市全体の再生利用量を把握したうえで、新たな再生利用品目の検討を行い再生利用量の増加、最終処分量の減少を図ります。

#### 【生活排水処理】

接続率については、概ね全地区で順調に推移している一方、近年、高齢者世帯(一人暮らし等)が増えてきているなど一部の未接続世帯が横ばい状態にあります。公共下水道、集落排水施設等整備区域外の水洗化を含め、今後も、接続率(水洗化率)の向上を推進するための広報活動を実施します。

#### (都道府県知事の所見)

排出量、再生利用量及び最終処分量については、人口減少に伴う家財道具等の搬入の増加や、民間事業者による資源ごみの収集等が影響し、目標未達成となっている。

改善計画書に記載された、発生抑制、分別徹底の普及啓発や、住民、事業者、行政が連携した再生利用の取組等により、できるだけ速やかに目標を達成するよう努めていただきたい。

生活排水処理の普及拡大については、環境保全に対する意識を高め、県民と行政とが一体となって進めていくことが重要である。改善計画書に示す広報活動を積極的に推進することで、目標を達成するよう努めていただきたい。

循環型社会の形成に向けた総合的かつ計画的な取組の推進を期待する。